

第五十三回定期大会基調報告(案)

1. 10年度の主な運動の特徴

(1) この1年を振り返って

① 一〇年度の情勢

二〇〇九年九月に六〇％を超す高支持率でスタートした鳩山政権ですが、政権公約の後退、普天間基地移設問題、首相幹事長の「政治とカネ」問題などが浮き彫りとなり、二〇一〇年一月には不支持率が支持率を上回り、鳩山首相は六月に辞意を表明、菅直人が次期首相に選出され、菅政権が誕生しました。菅政権は「脱小沢」を打ち出し「クリーンでオープンな政権」を強調しましたが、具体的な政策が打ち出されず、消費税増税や新経済成長戦略TTPP(環太平洋連携協定)など保守路線への回帰を強めています。また、小沢元代表は強制起訴となり民主党は議員資格停止の処分を決定しました。この様な中での通常国会は、国民のための審議ではなく、政党対政党の争いとなっています。



昨年の墨田支部定期大会

二〇一〇年度予算は、

年一〇月〜二〇一〇年一〇月までの国

内総生産(GDP)は四

半期で五期ぶりのマイナ

ス成長となり、GDPで

は中国に抜かれ「世界第

二位の経済大国」から転

落し、景気の「踊り場」

から脱却する兆しも見え

始めています。長引くデ

高騰など、日本経済を取

り巻く環境は依然厳しい

状況です。また、失業率が

四・九％に高止まりし、大

卒の内定率が七割未満に

とどまるなど、雇用情勢

も依然厳しい状況です。

建設産業では、〇八年

のリーマンショックから

建設不況が長期にわたっ

て続きましたが、昨年から

東京の住宅建設に若干

の持ち直しが見られてい

ます。しかし、公共工事

大幅削減、大企業支援の

成長施策などの影響で新

設住宅着工戸数は八〇万

戸前後、建設投資は四〇

兆円前後に激減したまま

です。大手ゼネコン、住

宅メーカー、パワーステ

ディー等、大幅な資金・

単価の切り下げを強行

し、下請け業者、建設労

働者の仕事と暮らしは厳

しいものがあります。

昨年、政府が緊急経済

対策として創設した住宅

版エコポイント制度は、

連携した取り組みや地域

二六社中二〇社は、二〇

一〇年度の中間決算で、

完成工事総利益で前年実

績を上回り回復基調にな

っています。一方、中小

建設業者は、資金・単価

の切り下げなどで厳しい

状況が続いています。

このように二〇一〇年

は、民主党の保守路線へ

の回帰、わが国に政治の

停滞、円高・デフ

による景気の停滞、建

設産業の格差拡大など激

動の一年となりました。

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

建設国保予算要求のデモ行進

明日への希望

資格講習会のご案内

《定場の組立等作業主任者》

講習日 四月二〇日、二二日の二日間

受講料 一〇、〇〇〇円

対象者 該当する仕事に三年以上の経験必要

締切 定員七〇人になり次第(写真)

《定場の組立等作業主任者能力向上教育》

講習日 五月二六日

受講料 七、〇〇〇円

対象者 「足場作業主任者修了証」が必要

締切 定員六〇人になり次第(写真)

《木造建築物の組立等作業主任者》

講習日 六月一日、二日の二日間

受講料 一〇、〇〇〇円

対象者 該当する仕事に三年以上の経験必要

締切 定員六〇人になり次第(写真)

《有機溶剤作業主任者》

講習日 四月二七日、二八日の二日間

受講料 一〇、〇〇〇円

対象者 十八歳以上

締切 定員六〇人になり次第(写真)

《職業・安全衛生責任者教育》

講習日 四月六日、七日の二日間

受講料 一三、〇〇〇円

対象者 常時現場で直接指揮監督する方

締切 定員四〇人になり次第(写真)

《低圧電気取扱特別教育》

講習日 五月一七日

受講料 六、八〇〇円

対象者 十八歳以上

締切 定員五〇人になり次第(写真)

《石綿作業特別教育》

講習日 五月一九日

受講料 三、八〇〇円

対象者 定員六〇人になり次第(写真)

《JWCAD講座》

講習日 四月一四日〜五月一九日の五日間

受講料 三三、三六〇円

締切 定員二〇人になり次第(写真)